国指定重要文化財

代々木競技場





国立代々木競技場は、竣工**60周年**を迎えました
これからも、皆様とともにスポーツと文化の歴史を刻んでいきます

代々木競技場の完成（1964）

日本を代表する名建築と評される国立代々木競技場は、1964年東京オリンピックの「屋内総合競技場」として、**丹下健三氏（建設・総合意匠）、坪井善勝氏（構造）、井上宇市氏（設備）の3氏**により設計されました。

ダイナミックな屋根曲線、随所に取り入れられた日本の伝統的なデザイン、そして、選手と観客の一体感を生み出す無柱空間と、1万人以上がスムーズに出入りできる流動的な動線。この建物は、**建築物としての美しさとスポーツ施設としての機能性とを併せもっています。**

丹下氏は、柱のない大空間を生み出すため、高さ40mの2本の柱の間にケーブルを張りそこにワイヤーロープを巡らせ屋根をかける「吊り屋根構造」を採用。巨大な橋の建設に用いる土木技術を大規模な建築物に取り入れるのは、前代未聞の挑戦でした。

オリンピック開催が迫り、許された工期はわずか**18カ月**。
着工後、構造上の様々な課題に直面する中、日本建築界を代表する技師たちが、それぞれの知見と当時最先端の技術を結集させ、前例のない工事に挑み続けました。オールワイヤーでは実現できない屋根曲線に対しては、吊り材をあらかじめ成型した鉄骨に変更し、**「セミリジッド（半剛性）吊り屋根構造」**で造り上げられました。

そして、**1964年（昭和39年）8月31日**、国立代々木競技場が完成。
オリンピック開催まで残り39日でした。







▲ 建築中の様子



竣工当時の第一・第二体育館



竣工当時の第一体育館屋内水泳場

二度のオリンピック

1964年の東京オリンピックにおいては、第一体育館で水泳競技、第二体育館でバスケットボールが行われました。

2021年の**東京2020オリンピック・パラリンピック**では、第一体育館で、ハンドボール、車いすラグビー、パラバドミントンの各競技が行われました。

国立代々木競技場は、世界でも珍しい二度の五輪を経験した施設です。

施設紹介

第一体育館

・アリーナ面積　4,000㎡
・延床面積　28,705㎡
・最大収容人数　12,934人
・近年の主な利用
W杯バレー、フィギュアスケートNHK杯
Bリーグ、各種コンサート 等



第一体育館　アリーナ

第二体育館

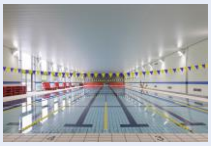
・アリーナ面積　1,300㎡
・延床面積　5,644㎡
・最大収容人数　4,002人
・近年の主な利用
バスケットボール（Bリーグ、インカレなど）
SVリーグ、Tリーグ、ファッションショー 等



第二体育館　アリーナ

室内水泳場

50m ×6コース



フットサルコート

人工芝　4面



＊第一体育館・第二体育館の館内写真は裏面でもご紹介しています

重要文化財の指定（2021）

2021年8月、第一体育館・第二体育館が**国の重要文化財（建造物）に指定**されました。
指定当時は、完成年が最も新しい重要文化財でした。

＜解説文＞
昭和39年の東京オリンピックを機に建設された、丹下健三の代表作。吊り構造により、屋根及び観客席を支える象徴的な外観と、中央が伸びあがる壮大な内部空間を創出する。二つの半円形をずらして組み合わせた巴形が生む動線計画も明瞭で美しい。当時一流の技術者を結集し、前例のない技法、工法を開発、駆使し、意匠、構造、機能を極めて高い水準で融合させて空前のダイナミックな建築を実現した。意匠的にも技術的にも秀でた、戦後モダニズム建築として価値が高い。

当競技場は、重要文化財でありながら、年間300日以上の稼動を続けているスポーツ施設・コンサート会場でもあります。

＜国立代々木競技場で行われた主なイベント等＞

第一体育館

1964	オリンピック東京大会（水泳競技）	
1964～	アイススケート場の一般公開開始（冬季）	＊冬季はアイススケート場、夏季は水泳場として稼働
1965～	水泳場の一般公開開始（夏季）	
1977～	ワールドカップバレーボール	＊日本初開催
1977･1985	世界フィギュアスケート選手権	＊日本初開催
1979～	第1回ワールドカップ水泳競技大会	
1983･2014	世界卓球選手権大会	
1983	チャゲ＆飛鳥コンサート	＊初のコンサート利用
2016	B.LEAGUE 開幕戦	
2021	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（ハンドボール、車いすラグビー、パラバドミントン）	

第二体育館ほか

1964	オリンピック東京大会（バスケットボール）
1964～	全日本学生バスケットボール選手権大会
1965～	全日本総合バスケットボール選手権大会
1966～	全日本総合バドミントン選手権大会
1967～	バスケットボール日本リーグ（現在のBリーグ･Wリーグ）
1975	世界女子プロテニストーナメント
1994～	サーカスアート「サルティンバンコ」　＊園地に大型ドームテント仮設
2012	フットサルコート営業開始

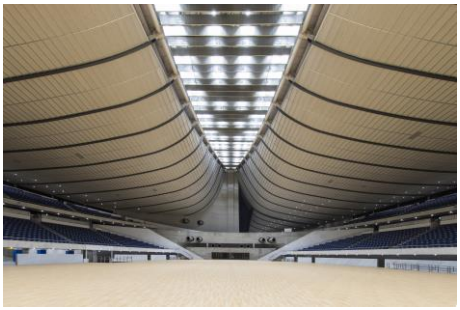
＊第二体育館は、1999年からプロスポーツ、コンサート等の利用を開始

（独）日本スポーツ振興センター 国立代々木競技場

館内のご紹介

第一体育館

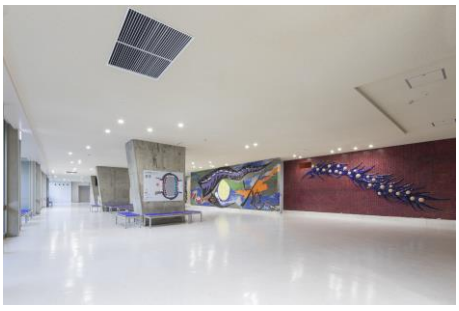

アリーナ全景①


アリーナ全景②

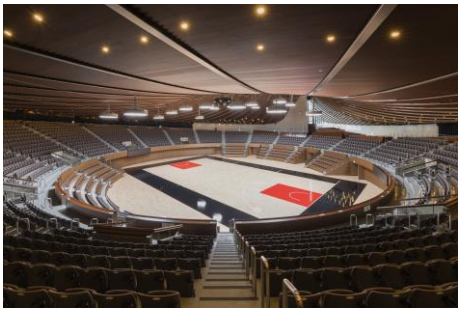

来賓席

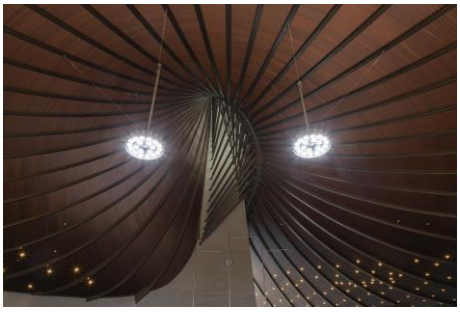

来賓室


ラウンジ


ロビー

第二体育館


アリーナ全景


アリーナ天井


更衣室


ロビー

国立代々木競技場の芸術作品・記念作品（一部）

















1～4 岡本太郎「眼」・「手」・「競う」・「足」（陶製モザイク）（第一体育館）
5　志水晴児「岩」（第一体育館）
6　篠田桃紅「水冠」（第一体育館）
7　A.カルデナス「真鶴の夏の蝶」（外構）
8　水井康雄「余韻の化石」（第二体育館）